

グラウンド・ゴルフ協会の現状報告

平成3年、神奈川県に協会（KGGA）が設立したのを知り、藤沢の3地区の40名ほどの有志が集まり、各地区の公園等で練習を始めたのが、藤沢市グラウンド・ゴルフ協会（FGGA）の始まりである。平成5年には会員も100名ほどになって、KGGAに加盟することになり、さらに平成8年、正式にFGGAを発足させ、藤沢市体育協会に加盟した。現在では27地区の団体で、総勢450名（男280名 女170名）の会員数にまで成長してきた。

グラウンド・ゴルフは「いつでも、誰でも、何処でも」のスローガンを下に、経験のない方でも直ぐに出来るスポーツで、また何歳からでも上達していける。基本は個人で楽しめるが、仲間が出来ると、食事会、飲み会、カラオケ、旅行など、ゴルフ以外の交流が盛んになる不思議なスポーツだ。

（会員の年齢構成）

会員の年齢別構成を見ると、男女とも70代が中心で、平均年齢は何と74才である。従って50～60代はまだ漢垂れ小僧で、諸先輩の足元にも及ばないのだ。60代で始めれば、20年間は楽しめるスポーツと言うことになる。そして男女の力の差も非常に少なく、32ホールのゲームでは、平均2～3打の差があるくらいだ。

年代	男	女
50代	1%	1%
60代	18%	25%
70代	61%	60%
80代	20%	14%

市内にはFGGAに加盟していない団体・愛好者も非常に多く、毎年会員数は5～10%ほど増加しており、日本の年次GDP成長率の3～5倍の成長率だ。

各団体では近所の公園や広場を利用して、週に2～3回の練習を行い、また協会では年間8～10回程度の競技会を開催し、さらに近郊の地域協会やKGGA等の大会も年間十数回ある。市内での大会は大庭、秋葉台、大清水、県立体育センターなどの球技場を利用して

（競技会風景）



いる。これらの大会を通してさらに新しい仲間が作られ、健康で活気ある生活を送っている。血糖値が高くても、中世脂肪が多くても、前立腺が腫れてても、暑さ寒さも何のその、とにかく元気いっぱい我らの協会です。

FGGA 総務 田中 久史